

# 図書館用語集

図書館を利用して「この用語どういう意味？」ということはありませんか。図書館では、あまり馴染みのない言葉を耳にすることがあります。そこでよく使われる用語を紹介します。図書館用語をマスターして、図書館を有効活用しましょう！

|        |   |
|--------|---|
| あ<br>行 | <b>ISSN</b> (あいすえすえぬ)<br>International Standard Serial Numberの略称。国際標準逐次刊行物番号のことで定期刊行物、新聞や雑誌などの逐次刊行物を識別するために付与されるID番号のことです。OPACやインターネットなどで雑誌を探す時にこのIDを使うと便利です。 |
| さ<br>行 | <b>紹介状</b> (しょうかいじょう)<br>東洋大学附属図書館に所蔵がなく、他大学・他機関の図書館に所蔵がある場合、直接その図書館に向いて資料を閲覧することができます。その際に持参する東洋大学附属図書館が発行している書類のこと。また、閲覧願(えつらんねがい)とも言つ。希望する方はカウンターにご相談ください。 |
| は<br>行 | <b>ISBN</b> (あいえすびーえぬ)<br>International Standard Book Numberの略称。国際標準図書番号のことで図書を識別するために付与されるID番号のことです。OPACやインターネットなどで本を探す時にこのIDを使うと便利です。                       |
| ま<br>行 | <b>資料番号</b> (しりょうばんごう)<br>東洋大学附属図書館資料を特定する本学特有のID番号(バーコード)を指します。OPACで検索したときに表示されます。   |
| た<br>行 | <b>請求記号</b> (せいきゅうきごう)<br>図書館で資料が並べられている位置を示す記号のこと。請求記号のラベルは資料の表紙の下部に貼られていますので、このラベルの記号を頼りに資料を探します。図書館の資料は日本十進分類法(NDC)に基づき分類された番号・記号の順番に並べられています。             |
| れ<br>行 | <b>製本雑誌</b> (せいほんざっし)<br>雑誌の破損、散逸などを防止するために、数冊をまとめて1冊の本のように製本した雑誌のこと。ちなみに新刊雑誌など製本されていない雑誌のことを「未製本雑誌」と言います。  |
| こ<br>行 | <b>電子ジャーナル</b> (でんしじゃーなる)<br>雑誌の電子メディア版。オンラインジャーナルのこと。紙版と電子版の両方で刊行されるものもありますが、最近では電子版のみ刊行されるものも増えています。東洋大学が契約している電子ジャーナルは学内のネットワークに接続したPCからアクセスができます。         |
| は<br>行 | <b>配架</b> (はいか)<br>新規に受け入れたり、利用された資料を書架の所定の位置に配置すること。あるいは排架(はいか)とも書きます。   |
| ま<br>行 | <b>マイクロ資料</b> (まいくろしきょう)<br>図書や雑誌などの内容をフィルムに写した資料(マイクロフィルム・マイクロフィッシュ)のこと。これらの資料を閲覧するには専用の装置を使用するため、カウンターでの手続きが必要です。   |
| ら<br>行 | <b>ラーニング・コモンズ</b> (らーにんぐ・こもんず)<br>「学習するための共有の場」です。インターネット環境と従来の図書館資料を有効に使い、学生同士がともに考え、ディスカッションし、情報発信する場です。  |
| さ<br>行 | <b>レファレンス</b> (れふあれんす)<br>探している文献が見つからない、どうやって調べていいか分からないなど困ったときに、図書館のスタッフが相談にのってくれるサービスのこと。レファレンスカウンターにご相談ください。  |
| か<br>行 | <b>コンソーシアム・協定校</b> (こんそーしゃむ・きょうていこう)<br>東洋大学附属図書館が契約している新聞・雑誌記事、百科事典、学術論文、法令・判例などさまざまな情報を検索するためのデータベースのこと。学内のネットワークに接続したPCからアクセスできます。                         |
| さ<br>行 | <b>参考図書</b> (さんこうとしょ)<br>辞書・百科事典・年鑑・統計・白書など、調べものをするときに利用する資料のこと。利用は館内のみとなります。   |
| じ<br>行 | <b>自動貸出返却装置(ABC)</b> (じどうかしじへんきゃくそうち)<br>カウンターで手続きしなくとも、この装置を使えば、セルフサービスで図書の貸出・延長・返却の手続きができます(白山図書館は貸出・延長のみ)。未製本雑誌・視聴覚資料は、カウンターで手続きをお願いします。                   |


  
**KOSMOS**  
 東洋大学  
 図書館ニュース  
 コスモス


  
 2014  
 No.155

**CONTENTS**

**P2 <特集>**

**図書館であなたの大切な一冊を探しませんか?**

**~アスリートたちがおすすめ!~**

P4 館長・副館長紹介

P5 図書館トピックス

P6 貴重書紹介

P7 「電子ブック」や「リポジトリ」、  
知っていますか?

**東洋大学附属図書館**  
<http://www.toyo.ac.jp/site/library/>

# 特集 図書館であなたの大切な一冊を探しませんか? ～アスリートたちがおすすめ!～

萩野 公介

文学部 英語コミュニケーション学科1年／水泳部所属



- ロンドンオリンピック 男子400M個人メドレー 3位(銅メダル)
- 第15回世界水泳選手権 男子400M自由形 2位(銀メダル)
- 男子200M個人メドレー 2位(銀メダル)

この作品は天下一の茶人と言われた千利休を描いた作品である。今の茶道の基礎を築いたと言われる千利休がどのような人物だったのか、時の権力者であった秀吉と対立し、なぜ自刃の道を選んだのか興味がありこの本を手に取った。茶道は難解だといわれるが、私の母が茶道をしなんでいることや自宅で多くの茶道具を目についていたことから、抵抗感なく入ることができた。

作品の利休が腹を切腹する日から時間が遡って進んでいく、という構成が面白い。また、利休の秘めた恋についても描かれているのだが、多くの歴史的人物が登場してくるので歴史小説としても楽しめた。さまざまな茶道用語が出てきて難しく思う反面、茶室のしつらえや茶道具がまるで映像が浮かんでくるように感じられ、利休がいかに優れた美意識を持っていたかにも驚かされた。「わしが額ぞくのはただ美しいものだけだ」という一行からは『秀吉の権力には屈しない』という強い意志を感じられた。これが自刃の理由の一つなどは想像した。

もう一つ印象に残った一文がある。「わが一生は…。ただ一椀の茶を静寂のうちに喫することだけにこころを砕いてきた。」利休が茶の湯にどのように向き合っていたのかがよくわかる。精神を一服の茶に集中するという姿勢はスタート台に立った時の自分の精神状態にも共通するのではないかと思った。

母いわく「茶道は花、書、焼物等すべての知識を必要とする総合芸術」だそうだ。また、茶道の舞台となる茶室は、利休が生きた時代から单なる一服の茶を飲む場というだけではなく、茶の湯を通して、おもてなしの心で客とコミュニケーションを図る重要な場所であった。茶道は日本の立派な伝統文化の一つであると思う。

私は英語コミュニケーション学科に在籍し、英語をツールとして世界の人々とコミュニケーションを図れるようになることを目標に学習しているわけだが、そのためには日本の伝統文化の知識も持つ必要があると考えさせられた作品であった。



『利休にたずねよ』  
山本 兼一 著  
PHP研究所  
所蔵館 川越  
請求記号 913.6YK31  
ISBN 9784569702766

西塔 拓己

経済学部 経済学科3年／陸上競技部長距離部門所属



- ロンドンオリンピック 男子20km競歩 25位
- 第36回全日本競歩能美大会男子日本学生選手権20km競歩 優勝
- 第14回世界陸上選手権 男子20km競歩 6位(日本最高位タイ)

私の勧める1冊の本は乾くるみさんの『イニシエーション・ラブ』という本です。この本のあらすじは、大学4年の鈴木夕樹が友人に誘われて嫌々ながら行った合コンで成岡織子という女性と出会います。やがて夕樹と織子のふたりは付き合うようになり、夏休み、クリスマス、学生時代最後の年とともに過ごしました。夕樹は織子のために東京の大企業を蹴って地元静岡の会社に就職しました。しかし、夕樹はいきなり東京勤務を命じられてしまいます。週末だけの長距離恋愛になってしまい、いつしかふたりに隙間が生じていいく…。最後の最後で展開が大きく変わる恋愛小説に見えて実はミステリーな本となっています。

そして、私が1番勧めているこの本の見所は、最後の2行で今までの作り上げてきた物語が一気に変貌してしまうという所です。しかし、最初から最後の方を見るのではなく必ず最初からじっくり読んで欲しいです。するとこの本の1番の魅力が分かると思います。

私がこの本を見つけた時に「必ず2度読みたいくなる」と書かれていたので本当かどうか半信半疑で読んだ本です。私自身の感想は、最初はどこにでもあるような恋愛小説でどこかの部分に必ず読みたくない部分があるのかと思いながら進めましたが、最後の2行でやられてしまい、普段2回も読むことのない私でしたが、まんまと最初から読み返してしまいました。

この本はそれほど分厚くなく内容もサラサラと読めるような本となっているので文字や本が苦手という人にも勧める本です。とても面白く、疑問に思う部分もたくさんあり、最後の最後で大どんでん返しの『イニシエーション・ラブ』をぜひ読んでみてください!

『イニシエーション・ラブ』  
乾くるみ 著  
文藝春秋  
所蔵館 白山  
請求記号 913:13  
ISBN 9784167732011



東洋大学のキャンパスで学び、そしてスポーツの分野で活躍している在校生に「おすすめの一冊」を紹介していただきました。勉強に部活に、多忙な東洋大のアスリートたちが、大切な一冊に出会ったきっかけやその本を通して得たものとは?

彼らの活躍の裏にある一冊はどんな本なのでしょうか。それぞれの「物語」を覗いてみましょう。  
エピソードの中に、あなたの大切な一冊に出会えるヒントが隠されているかもしれません。  
いつまでも心に残る一ページに出会うために、ぜひ図書館の扉をたたいてみてください。

◆プロフィールは2013年度のものです。ご登場いただいた学生の活躍の様子は東洋大学公式WEBサイトでさらに詳しく見ることができます。  
大会の情報や速報を、ぜひこちらでチェックしてみてください!  
東洋大学体育会 スポーツ情報 ⇒ <http://www.toyo.ac.jp/site/sports/>

おおば あんり  
大場 杏莉

生命科学部 食環境科学科2年／陸上競技部女子長距離部門主将



『宝塚式「バスの25箇条」に学ぶ「美人」養成講座』  
貴城けい 著  
講談社  
所蔵館 白山  
請求記号 159:13  
ISBN 9784062814720



以前、監督に「かわいらしく芯のある女性になりなさい」と言われたことがあります。どういう女性なのか悩んでいた時に、この本と出会いました。まず、強烈な題名に惹かれました。

本の中に宝塚歌劇団で掲げられている「バスの25箇条」が紹介されています。

「1.笑顔がない、2.お礼を言わない、3.美味しいと言わない、4.目が輝いていない、5.精気がない、6.いつも口がへの字をしている、7.自信がない、8.希望や信念がない、9.自分がバスであることを知らない、10.声が小さくじけている、11.自分が最も正しいと思っている、12.グチをこぼす、13.他人を恨む、14.責任転嫁が丑い、15.いつも周囲が悪いと思っている、16.他人に嫉妬する、17.他人につくさない、18.他人を信じない、19.謙虚さがなく傲慢である、20.人のアドバイスや忠告を受け入れない、21.なんでもないことにはきつく、22.悲観的に物事を考える、23.問題意識を持っていない、24.存在自体が周囲を暗くする、25.人生において仕事においても意欲がない」(本書、巻頭2頁)、ドキッとするようなことばかりです。私は7、12、14に特にドキッとさせられました。気を付けなければいけないなと思うような事ばかりです。

この中で一番印象に残ったことは、宝塚では毎日掃除が社業であるということです。私たち女子陸上部の寮でも毎朝10分間掃除がありますが、宝塚では1時間半です。とても驚きましたが「学校を磨き上げることが自分を磨き上げることになる」とありました。いやだなと思ってしまう掃除も愚痴を言う前にビカビカにしましょう心もビカビカになるのだと思いました。「美しい人」に1歩でも近付けるように「清く正しく美しく」を意識していきたいです。そして、監督の言う「かわいらしく芯のある女性」になりたいです。

自分を変えたいけれどいつも変えられない私ですが、なりたい自分になるための努力をしていきたいです。また、「バスの25箇条」を心の礎として1日1日を大切に過ごしたいです。元気が出る本なので女性だけでなく男性にもオススメです。

かどわき みどり  
門脇 翠

ライフガイズム学部 健康スポーツ学科3年／陸上競技部短距離部門所属



- 第22回夏季デフリンピック競技会ソフィア2013 女子100M出場／女子4×100Mリレー 6位入賞
- 第2回世界ろう者陸上競技選手権大会 女子100M出場／女子4×100Mリレー 4位入賞
- 第7回岩壁杯陸上競技対校選手権大会 女子100Mオープン 7着

「根底に哲学を持て」一本学水泳部の平井伯昌監督の言葉です。アスリートが大会や記録会で思うような結果を出すことはなかなか難しいと言います。練習通りのことができなかつたり、練習の中でも自分の求める理想的なフォームが身に付かなかつたりしてもう自分はダメなのかと心が折れてしまうことがあります。私もその一人です。

その本に出会ったのは、デフリンピックに出場する4か月前のことでした。その頃は冬季練習をしっかりこなしてきたものの、身体の変化が見られなかった為、物足りなさを感じていました。日々の練習がどういったことに繋がるのか理解しておらず、ただその内容の辛さに耐えることで精一杯でした。思うようなシーズン入りを迎えるなかつた私は、自分に何が足りないのか、自分のどういった考えがいけないのか自問自答し続けていました。そんなある日、体育会部員を対象とした強化部オリエンテーションにて本学水泳部の平井監督の講演を聴く機会をいただきました。学科で学習していることに近い内容だったので、持って生まれた障害のために内容が聴き取れなくともスライドの1字1字にあつという間に吸い込まれていきました。そのことをきっかけに競技種目は違えども、平井監督から何かヒントをいただけるかもしれない、現状打破にふさわしい「突破論」を読むことにしました。

著者が選手を育てる立場にいる方なのでどちらかといふと指導者に向けた内容だと思われがちなのですが、選手のメンタル強化には何が必要かということにも触れているので、選手の立場にある人でも手に取りやすい本だと思います。本によれば、自問自答することで自分とコミュニケーションをとることは大事なのだけれど、自分の立場(目的意識)を明確にしないと意味がないというのです。どんなに練習に強気で取り組んでも、途中気持ちが切れて最後まで持たないところがある私ですが、その要因は自分の強みになるはずの明確な目的意識が持てていないのではないかと考えました。それからは自分が強くなる為に今の環境に置かせていたいと考えるのではなく、所属しているチームの為に自分が何ができるのかを考えることになりました。その土台をしっかりと固めさえすれば何でも前向きになれるものです。そういう考え方をもってすれば、プレない強い「志」を持ち続けられるかもしれません。





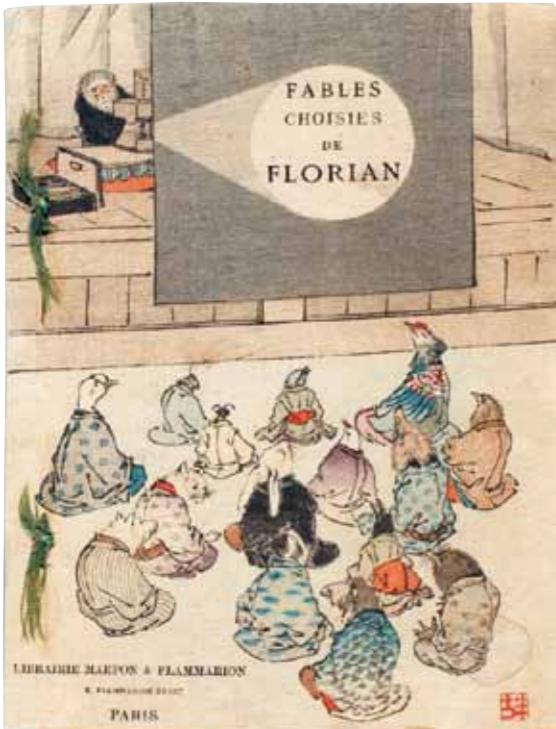
# 貴重書紹介

本学附属図書館が所蔵する貴重な資料の中から、「フロリアン寓話集」(Fables choisies de Florian)について高橋直美先生よりご紹介いただきました。



## 『フロリアン寓話集』

(Fables choisies de Florian) 明治28(1895)年出版



『フロリアン寓話集』(Fables choisies de Florian)は、18世紀フランスの劇作家・小説家であるフロリアン(Jean-Pierre Claris de Florian, 1755-1794)の寓話の原文(フランス語)をそのままテキストとして使用し、狩野派の狩野友信と兼斎派の梶田半古が絵師として挿絵を描いた和本装丁の書物であり、日本文化に憧れで来日し、著名な浮世絵師たちと交流のあったフランス人日本美術愛好家・バルブー(Pierre Barboutau, 1862-1916)のプロデュースによって、明治28(1895)年に日本で出版された。

このような体裁の本は「縮緼(ちりめん)本」とよばれ、縮緼に似た感触を与えるように加工した和紙(=柔らかいクレープ状の和紙)でできており、鮮やかな多色刷りの木版画の挿絵と、歐文(本書はフランス語)の物語の組み合わせで構成されている。

本書の挿絵は日本の美しさのみならず、フランス人が当時の日本や浮世絵をどのように見ていたかが理解でき、また、挿絵を通して当時の時代背景や出版背景にあるさまざまな諸事情を読み取ることが可能なため、当時の日本事情を知る資料としても評価が高い。

この『フロリアン寓話集』は表題が動物でも挿絵は人間になっているもの、歌川国芳の戯画のように動物が人間以上に人間臭く描かれているものも含め、当時の日本の生活情景をありのままに表現した挿絵で構成されている。

また、この本をプロデュースしたビエール・バルブーの功績をみると、縮緼本は単なる日本土産としてのみならず、当時のフランスにおける日本の文化、特に日本の版画の紹介や普及に大きく貢献したものと考えられる。



〈プロフィール〉  
高橋 直美(たかはし なおみ)

■所属:東洋大学ライフデザイン学部  
生活支援学科 教授  
■専門分野:日本近代文学 特に宮沢賢治  
■所属学会:宮沢賢治学会イハトーブセンター

### ■論文等:

「鳥の北斗七星」論  
収録誌:「ライフデザイン学研究」第8号 掲載頁177~195  
出版年2013 出版元 東洋大学ライフデザイン学部  
イーハトーブ童話「注文の多い料理店」論「山」という異界  
収録誌:「東洋大学人間科学総合研究所紀要」第14号  
掲載頁205~222 出版年2012 出版元 東洋大学人間科学総合研究所  
『重右衛門の最後』異説—田山花袋と柳田國男との比較から—  
収録誌:「花袋研究学会誌」第28号 掲載頁1~11  
出版年 2010 出版元 花袋研究学会

# 「電子ブック」や「リポジトリ」、知っていますか?

図書や本学の学術論文・研究報告書がPDFで閲覧できます。



## 電子ブック

### 電子ブックとは?

書籍を電子ファイル化したもので、パソコンにデータをダウンロードしてパソコンの画面で読むことができます。  
本学では、丸善提供の「eBook Library」と紀伊國屋書店提供の「NetLibrary」が利用可能です。

### 電子ブックの便利な点は?

本文中の自分が読みたい部分を検索して抽出することができます。  
また、電子ブックは図書館内からはもちろん、東洋大学内の研究室やPC教室のネットワークからも電子ブックタイトルの閲覧が可能です。

### 利用可能なタイトルは?

「eBook Library」は165タイトル、「NetLibrary」は134タイトルの閲覧が可能です。  
(2014年3月現在)  
利用可能なタイトルは随時追加されていきます。

#### 【操作手順】

1. 東洋大学附属図書館ホームページよりbanner「電子ブック」をクリックすると、「電子ブックを読む」という画面が表示されます。



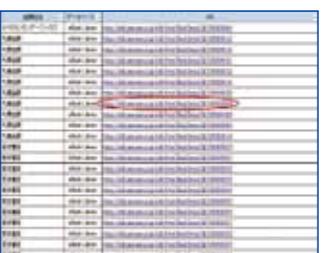
2. 「電子ブックを読む」にある電子ブックの全タイトルリストのURLをクリックします。



4. 電子ブックの書誌情報画面が表示されます。  
eBook Libraryは「閲覧」ボタン、NetLibraryは「電子書籍全文」をクリックすると、本文が表示されます。



3. 電子ブックの全タイトルが表示されますので、利用したい電子ブックのURLをクリックします。



※その他、OPACおよびEBOOK Library、NetLibraryのプラットフォームからのアクセスも可能です。  
詳しくは「パスファインダー No.11 電子ブックを使ってみよう!」をご覧ください。

## 東洋大学学術情報リポジトリ

### リポジトリとは?

学術論文や研究報告書などさまざまな学術情報をインターネットに公開しているサービスのことです。  
世界中のどこからでもインターネットを通じて論文等のコンテンツをダウンロードできます。  
主な対象のコンテンツは、大学独自で刊行されている紀要等です。

#### 【操作手順】

1. 東洋大学附属図書館ホームページよりbanner「東洋大学学術情報リポジトリ」をクリックすると画面が表示されます。



2. キーワード検索でキーワード「バイオテクノロジー」を入力し、検索します。



4. 論文等を閲覧することができます。



3. 検索の結果、「バイオテクノロジー」に関する論文等の件数が表示されます。「PDF」をクリックします。

